

長岡市子育て・育ち“あい”プラン
策定に関するニーズ調査

集計報告書

【概要版】

平成 31 年 2 月

長 岡 市

1. 調査の目的と実施概要

1. 調査の目的

本調査は、平成27年度に策定した「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」が平成31年度に最終年度を迎えることから、次期計画の策定にあたり、子育て家庭の実態や教育保育事業、子育て支援施策などに対するニーズを把握し、参考資料とするために実施したものです。

2. 実施概要

○ 調査対象：市内在住の未就学児及び小学生のいる家庭の保護者

：市内の中学校・高校に通学する中高生本人

○ 調査期間：平成30年11月21日～平成30年12月10日

○ 調査方法：

| 種別 | | 調査方法 |
|---------|------|-------------------------|
| 未就学児保護者 | 0～2歳 | 郵送配付・郵送回収（無作為抽出） |
| | 3～5歳 | 通園している各施設にて配布・回収（クラス指定） |
| 小学生保護者 | | 各学校を通して配布・回収（クラス指定） |
| 中高生本人 | 中学生 | 各学校にて配布・回収（クラス指定） |
| | 高校生 | 各学校にて配布・郵送回収（クラス指定） |

○ 配布・回収：

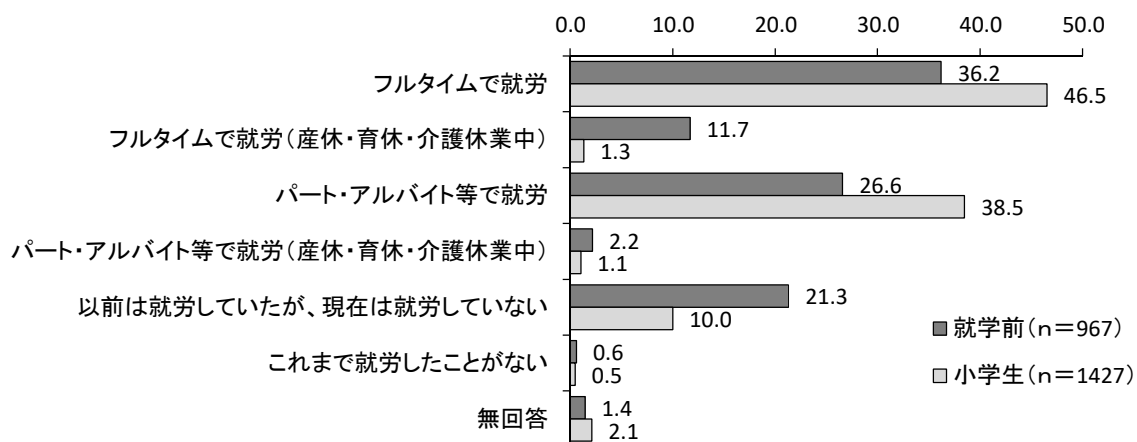
| 種別 | 配付数 | 回収数 | 回収率 |
|---------|--------|--------|-------|
| 未就学児保護者 | 1,495票 | 967票 | 64.7% |
| 小学生保護者 | 1,546票 | 1,427票 | 92.3% |
| 中高生本人 | 656票 | 428票 | 65.2% |

2. 母親の就労状況

1. 現在の就労状況

母親の現在の就労状況について、就学前児童保護者、小学生保護者とも「フルタイム（育休中等含む）」が5割弱で、就学前保護者の約1割が産休・育休・介護休業中となっています。また、小学生保護者では、就学前児童保護者と比べて「パート・アルバイト等」で就労している人の割合が高く、「現在就労していない」人の割合が低くなっています。

平成25年度に実施した調査（以下、前回調査という）の結果と比較すると、就学前児童保護者、小学生保護者ともにフルタイムで就労している人の割合がやや増加しています。



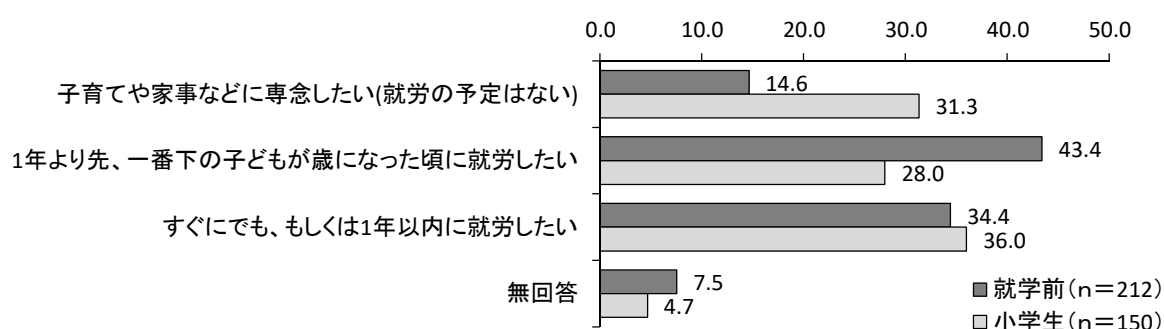
| | 就学前 | | 小学生 | |
|-----------------------------------|----------|----------|----------|----------|
| | 今回 (H30) | 前回 (H25) | 今回 (H30) | 前回 (H25) |
| フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | 36.2 | 31.5 | 46.5 | 40.5 |
| フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | 11.7 | 10.1 | 1.3 | 1.3 |
| パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | 26.6 | 28.4 | 38.5 | 43.2 |
| パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | 2.2 | 2.9 | 1.1 | 0.8 |
| 以前は就労していたが、現在は就労していない | 21.3 | 25.2 | 10.0 | 11.4 |
| これまで就労したことがない | 0.6 | 1.0 | 0.5 | 1.0 |
| 無回答 | 1.4 | 0.8 | 2.1 | 1.8 |

2. 今後の就労意向

現在、就労していない（就労したことがない）母親に、今後の就労意向をうかがったところ、就学前児童保護者、小学生保護者ともに、3割半ばの人が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答しています。

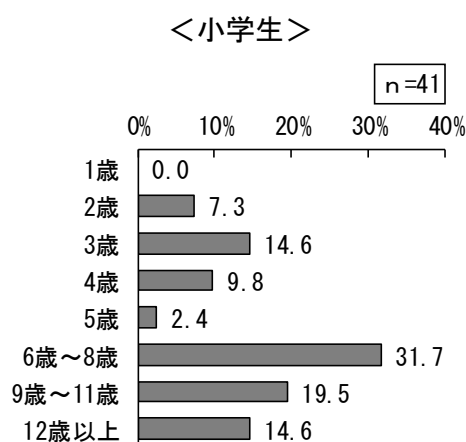
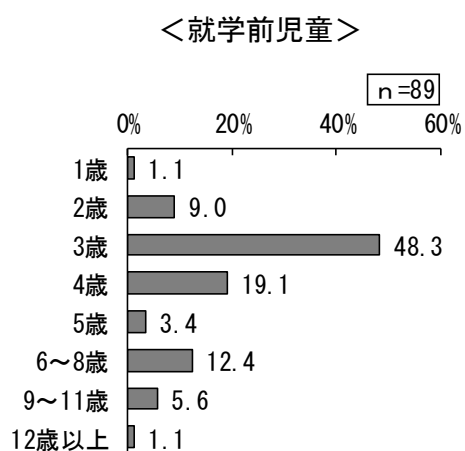
前回調査の結果と比較すると、就学前児童保護者で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。

「1年より先、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい」と回答した人に、その年齢をうかがったところ、就学前児童保護者では「3歳」、小学生保護者では「6～8歳」の割合が高くなっています。



| | 就学前 | | 小学生 | |
|----------------------------|----------|----------|----------|----------|
| | 今回 (H30) | 前回 (H25) | 今回 (H30) | 前回 (H25) |
| 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) | 14.6 | 12.7 | 31.3 | 23.2 |
| 1年より先、一番下の子どもが歳になった頃に就労したい | 43.4 | 44.8 | 28.0 | 27.2 |
| すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい | 34.4 | 27.8 | 36.0 | 40.4 |
| 無回答 | 7.5 | 14.7 | 4.7 | 9.3 |

■ 「子どもが●歳」の子どもの年齢



3. 定期的な保育・教育事業の利用状況・利用希望

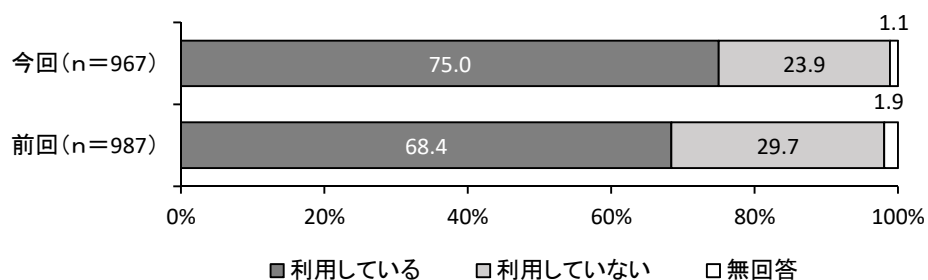
1. 現在の利用状況

定期的な保育・教育事業の現在の利用状況について、「利用している」が7割半ばで、前回調査と比べて増加しています。

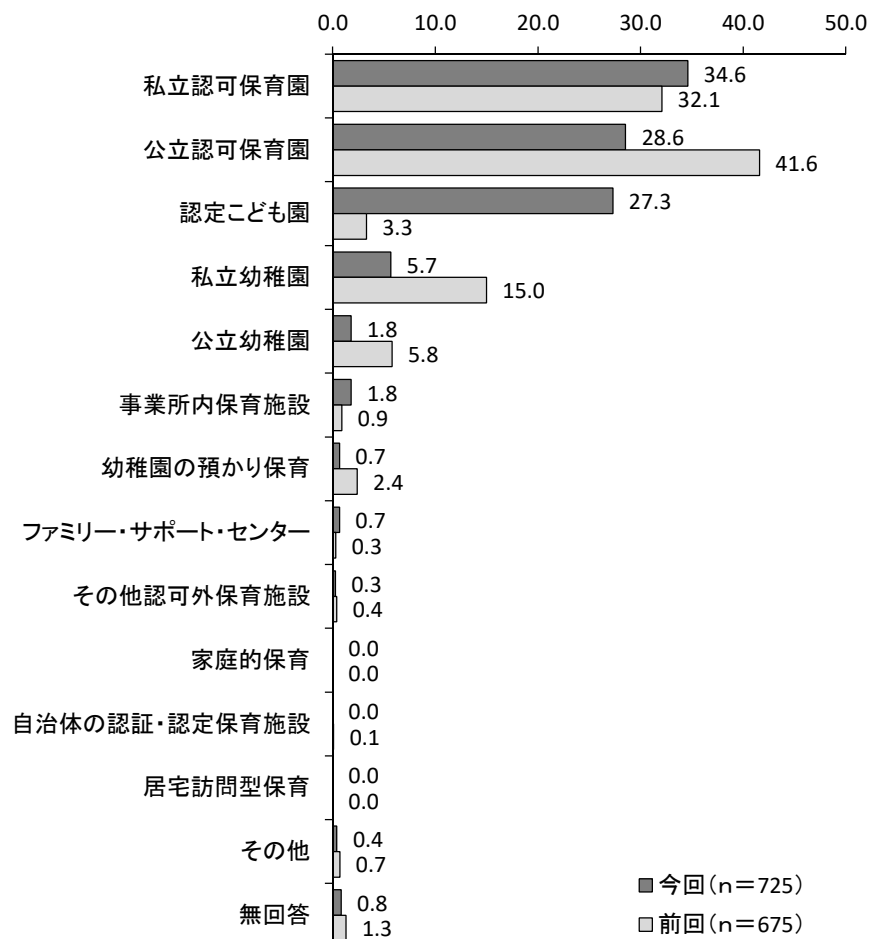
利用している保育・教育事業は、「私立認可保育園」が最も高く、「公立認可保育園」、「認定こども園」と続いており、それぞれ3割前後となっています。

前回調査の結果と比べると、「公立認可保育園」及び「私立幼稚園」の割合が減少し、「認定こども園」の割合が大きく増加しています。

①利用の有無



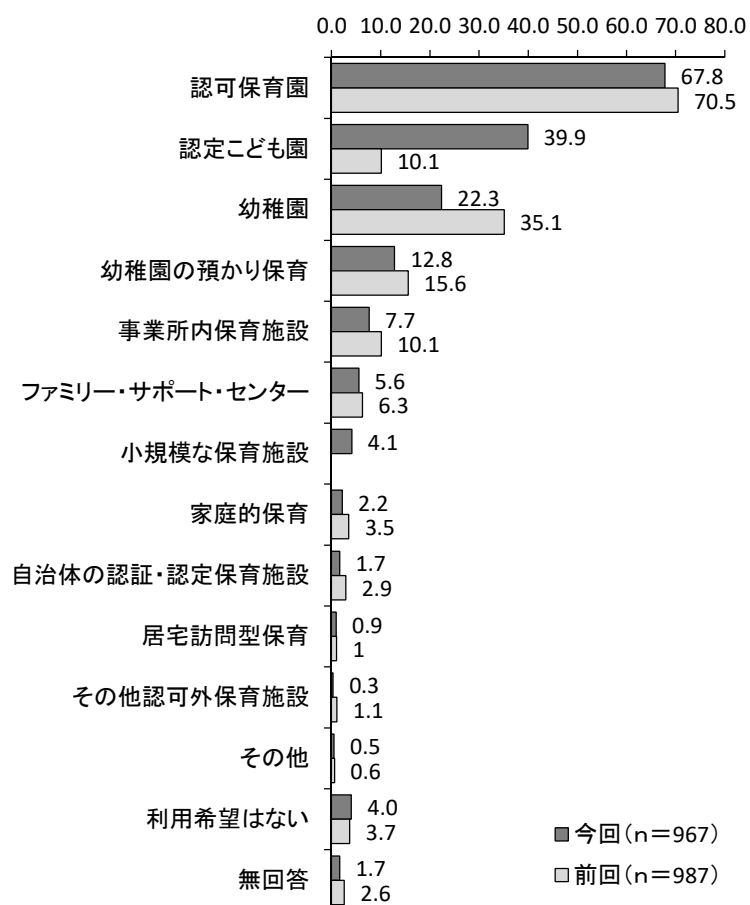
②利用している保育・教育事業



2. 利用希望

今後の利用希望をうかがったところ、「認可保育園」が7割弱で最も高く、次いで「認定こども園」、「幼稚園」と続いています。

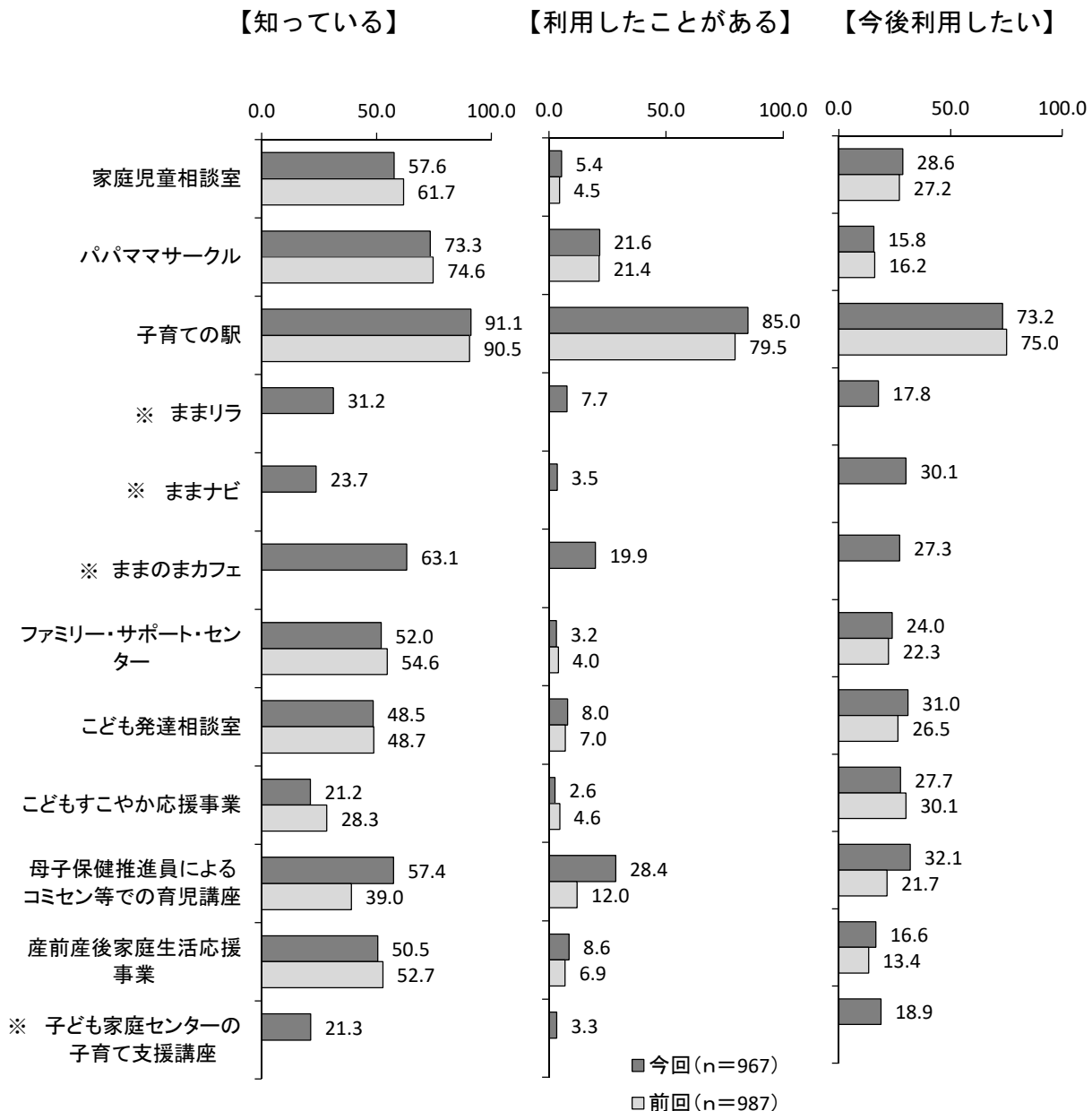
前回調査と比較すると、「幼稚園」の割合が減少し、「認定こども園」の割合が大きく増加しています。



4. 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用意向

子育て支援事業の認知度、利用状況、利用意向について、いずれも「子育ての駅」の割合が高くなっています。「ままりラ」、「ママナビ」、「こどもすこやか応援事業」、「子ども家庭センター」の認知度が2～3割で、比較的低い割合となっています。

前回調査の結果と比べると、「母子保健推進員によるコミセン等での育児講座」の認知度、利用状況、利用意向の割合が増加しています。



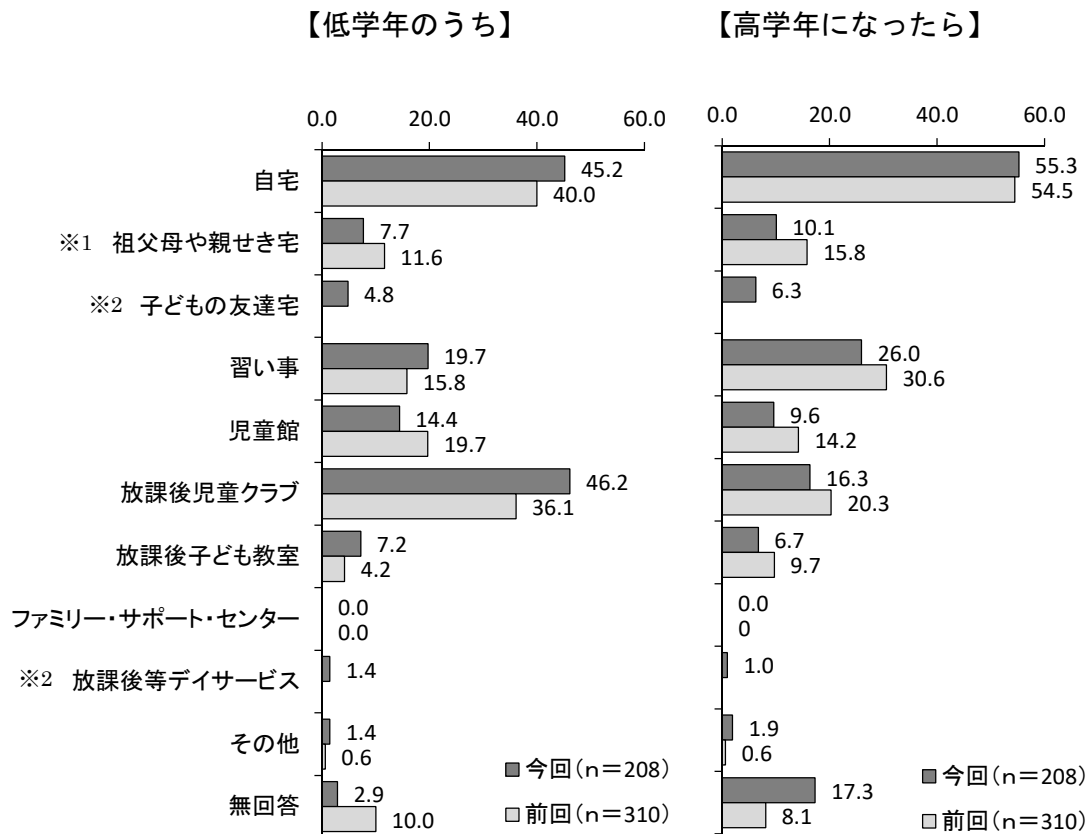
※「ままりラ」、「ママナビ」、「ままのまカフェ」、「子ども家庭センターの子育て支援講座」は、今回追加した選択肢。

5. 放課後の過ごし方

1. 就学前児童（5歳児）保護者

5歳児のいる保護者に、小学校入学後の放課後の過ごし方をうかがったところ、低学年のうちには「放課後児童クラブ」の割合がもっとも高く、高学年になったらその割合が低くなり、「自宅」の割合が高くなっています。

前回調査と比べると、低学年のうちの「放課後児童クラブ」の割合が増加しています。



※1：前回は「祖父母や知人・友人宅」

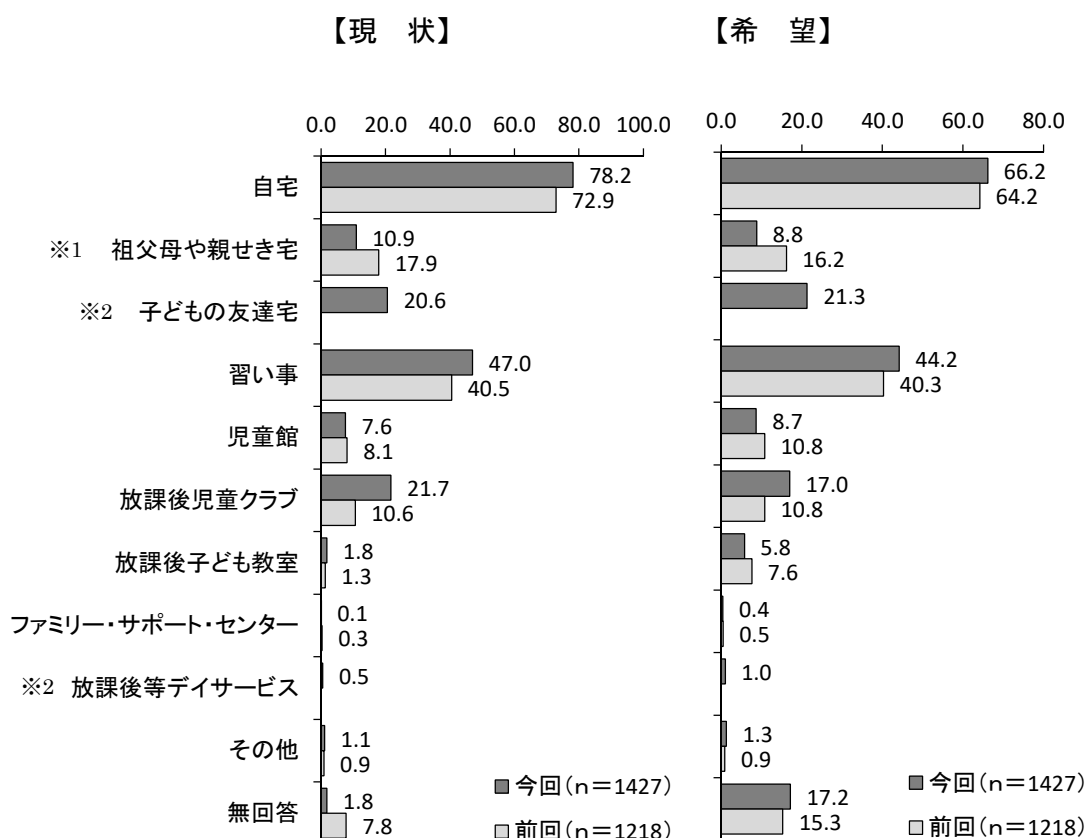
※2：「子どもの友達宅」、「放課後等デイサービス」は今回追加した選択肢。

2. 小学生保護者

小学生保護者に、放課後の過ごし方の現状と希望をうかがったところ、現状に比べて希望のほうが「自宅」の割合が低く、無回答の割合が高くなっていますが、それ以外で大きな傾向の差はみられません。

前回調査と比べると、「放課後児童クラブ」や「習い事」の割合が増加しています。

就学前児童保護者の回答と比較すると、小学生保護者のほうが、「自宅」、「習い事」、「子どもの友達宅」の割合が高くなっています。また、就学前児童保護者の「低学年のうち」の「放課後児童クラブ」の割合が際立って高くなっています。



※1：前回は「祖父母や知人・友人宅」

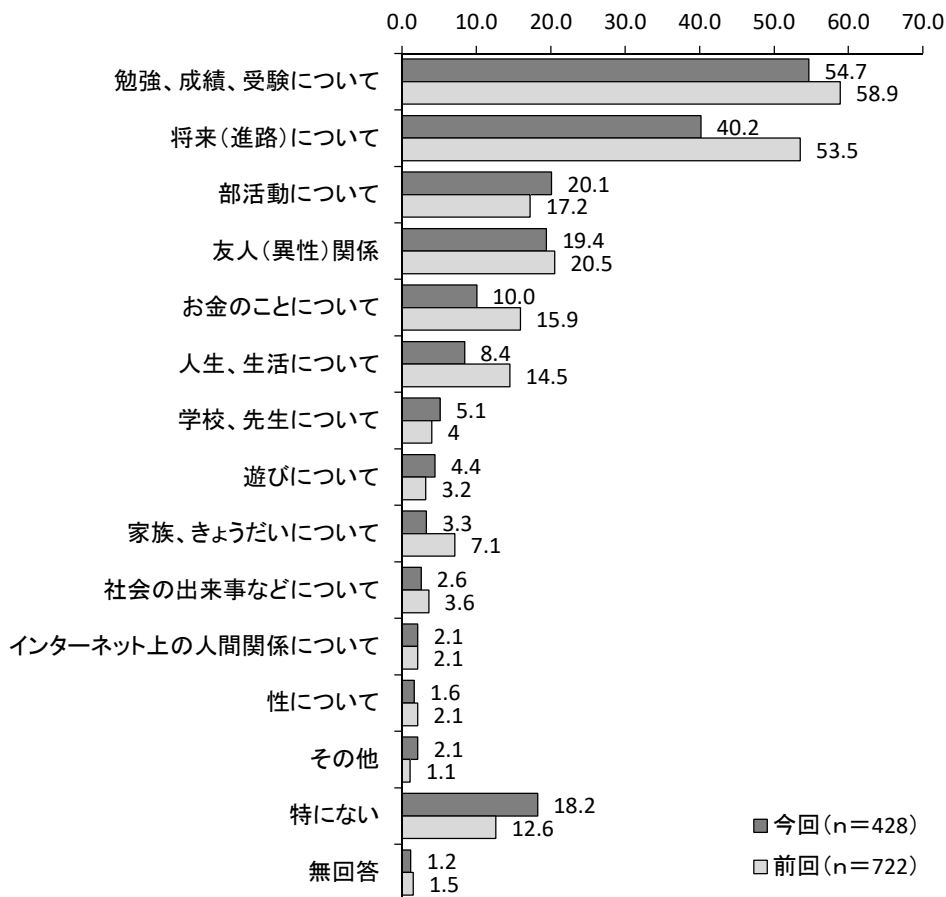
※2：「子どもの友達宅」、「放課後等デイサービス」は今回追加した選択肢。

6. 中高生の考え・意識

1. よく考えることや困っていること

中高生本人のよく考えることや困っていることについて、「勉強、成績、受験について」と「将来（進路）について」の割合が高くなっています。

前回調査と比べると、「将来（進路）について」の割合が減少しています。



2. 将来のあなた

将来像について、「結婚して子どもがいる」が約4割、「独立してひとり暮らししている」が約2割、「わからない」が約3割となっています。

前回調査と比べると、「結婚して子どもがいる」の割合が減少し、「独立してひとり暮らしをしている」の割合が増加しています。

